

社会福祉法人 目田市社会福祉協議会

社協だより **しんぱ**

2018.7.15
第80号

慈恩の滝



- 平成29年度事業・決算報告…… P 2
- 社協会費にご協力をお願いします… P 3
- 企業の社会貢献活動…………… P 4
- 災害ボランティア運営訓練を実施… P 5
- 福祉のしごと・見守りボランティア募集… P 6
- 受講生募集・福祉について学ぼう… P 7
- 寄付のお礼・掲示板…………… P 8

(主な事業実績)

⑦ 生活困窮者自立促進支援事業

- 相談者受付数 延1,026人(新規 154人)
- 相談件数 延2,442件
- 主な内容
「収入・生活費」「仕事探し、就職」など
- 相談方法
来所 102件、訪問 14件、電話 38件

⑧ 介護保険事業 *予防含む

事業名
居宅介護支援・訪問介護・通所介護

⑨ 障がい福祉サービス

事業名
居宅介護・同行援護・生活介護

⑩ トレーニング・プール(ウェルピア)

事業名	延利用者数
トレーニング	13,563人
プール	7,752人

⑪ その他

台風18号被害における職員派遣
 派遣先：津久見市、佐伯市
 派遣期間：9月21日～10月15日
 派遣数：津久見市 5名、佐伯市 1名

① 地区社協モデル事業の取組み(助成)

事業名	箇所	回数
ミニデイサービス事業	116	768
子育てサロン事業	17	169

② 一人暮らし高齢者会食交流会(助成)

事業名	回数	参加者数
会食交流会事業	38	2,365人

③ 配食サービス(助成)

事業名	グループ	配食数
配食サービス事業	11	2,866食

④ 生活福祉資金の貸付状況

資金の種類	件数	貸付決定総額
緊急小口資金 教育支援費など	27件	11,827,388円

*相談件数 年間延 134件

⑤ 障がい者社会参加促進事業

講座名	修了者数
手話奉仕員養成講座	12名
点字講座(一般)	4名

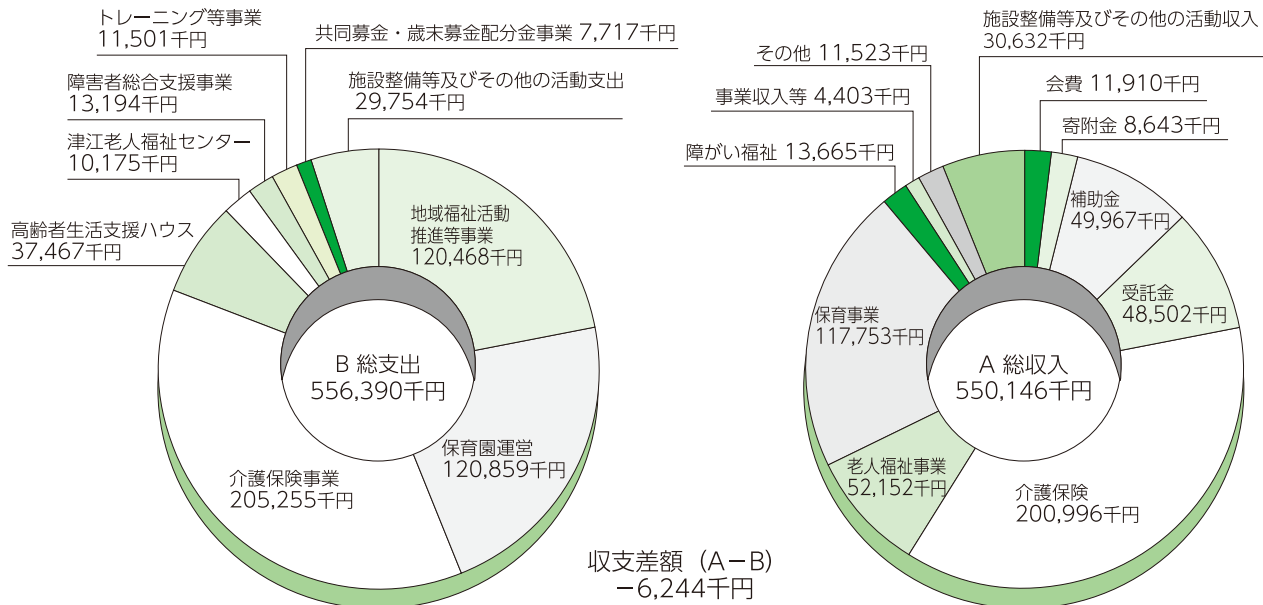
⑥ 福祉協力校

福祉協力校数	主な活動内容
小学校 9	募金活動、野外活動、福祉施設訪問、地域交流活動など
中学校 8	
高等学校 3	

平成29年10月から生活支援のモデル事業として、中津江村鯛生地区で買い物支援事業を実施しました。これまで、買い物に不便さを感じ、知人や親族に頼っていた高齢者等が、自ら買い物を楽しめるようになりました。これからも、生活課題の把握解消に努めてまいります。その他、九州北部豪雨災害では、早期の生活復旧を目的に災害ボランティアセンターを開設しました。2か月間にわたり、災害ボランティアの派遣調整を通じて家屋内の泥出しなど生活再建に向けた支援に取り組みました。



〈一般会計収支決算状況〉



主な支出の補足説明

地域福祉活動	法人運営、生活困窮者支援、ボランティア活動、日常生活自立支援、人材バンク、総合相談等に要する費用です
保育園運営	保育施設の運営及び子育て支援事業の費用です
介護保険	介護保険サービス・包括プランチ・予防事業の費用です
生活支援ハウス	前・中・上津江にある3施設の管理費用です
老人福祉センター	中津江にあるセンターの管理費用です
障害者総合支援	障害者居宅介護、通所介護に要する費用です
トレーニング等	ウェルピアのトレーニング・プールに要する費用です

主な収入の補足説明

会費	自治会や地区社協等を通じてお願いしている会費です
寄附金	福祉事業に対する寄附金や香典返しの寄附金です
補助金	市、県及び県社協からの補助金、共同募金配分金等です
受託金	地域総合相談、福祉人材バンクなどの受託金です
老人福祉	生活支援ハウス、老人福祉センターの協定料です
保育事業	保育施設の運営費収入及び子育て支援事業の受託金です
介護保険	訪問、通所、居宅支援、福祉用具貸与と事業の収入です
障害福祉	障害者居宅介護、通所介護の収入です

「みんながつながり 支え合えるまちをめざして」

社協会費にご協力をお願いいたします

皆様には、日田市社会福祉協議会の活動にご理解を頂き、ありがとうございます。

日田市社会福祉協議会では、一人ひとりの住民が年齢や障害の有無、福祉の担い手や受け手などの立場の違いに関わらず、「みんながつながり支え合えるまち」を目指しております。その実現のため地域のみなさんをはじめ、ボランティア、関係福祉団体などと協働しながら日々活動しているところです。

皆様から寄せられた会費は社協や関係団体などが実施する地域福祉事業の大きな財源となっています。

本年度も、8月以降にお願いに伺う予定です。

今後も、社協の活動にご賛同頂き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

個人・法人



特別・法人会費の種類

特別会費	1口 1,000円	個別にご賛同頂いている会費です。
法人会費	1口 2,000円	各地区の企業や団体にご賛同頂いている会費です。
特別協賛会費	1口 10,000円	

～皆さまの会費はこのように活用されています～



地区社協活動助成

日田市社会福祉協議会



会食交流会の様子



子育てサロンの様子



高齢者スポーツ大会

- ミニデイサービス (寄り合いサロン)
- 子育てサロン
- 高齢者会食交流会
- 配食サービス
- 見守り
- 事務費助成等

法人運営

- ボランティア養成講座の開催
 - ボランティア保険事業
 - 広報誌「社協だより」の発行
- その他、日田市社会福祉協議会では、地域福祉活動にかかわる事務費等に活用させて頂いております。



企業の社会貢献活動

三和酒類株式会社 思いやりの心

おなじみの麦焼酎「いいちこ」をはじめ、清酒、ワイン、ブランデーなどを幅広く手掛ける総合醸造企業の三和酒類株式会社（本社：宇佐市・設立：昭和33年）さんは、「品質第一」を基本理念に、お酒の醸造に邁進されています。またその一方で、大手地場企業として、社会貢献活動にも真剣に取り組んでいます。2002年以来、いいちこ蒸留所の操業地として社を構える、日田市への思いを伺いました。



いいちこ日田蒸留所
若林 武 所長

●日田市で16年

三和酒類(株)いいちこ日田蒸留所は、2002年4月に操業を開始し、この多くの自然に恵まれた素晴らしい環境の中で、様々な原酒を造ることができております。

お客様の多くが、当蒸留所の自然環境の良さに感動しており、ゆっくりと過ごしていただけるような雰囲気作りを大切にしてお迎えしています。

また、地元地域の方々が日頃より当蒸留所周辺の景観を大事に保っていたらいいことに大変感謝しております。

●地域への思い

場所とそこで暮らす人々が醸し出す「味わい文化」を大切にすることは、私たちが暮らしていくうえでの原点だと思っています。

現在、従業員は24名、職員を愛し、地域を愛し、また、愛される企業として、どうあるべきか？を常に考えるよう心がけており、地域の祭りへの参加や地域の清掃活動、交通安全強化のための街頭指導等、職員一丸となって取り組み、活動を行っています。

また、近年では、西有田振興協議会の皆様や同地区企業様との合同交流会を開き、一緒になって地域を盛



地域清掃活動の様子

り上げる取り組みも始めました。昨年の交流会では、同振興協議会の川津会長より「おきあげ人形」について講演して頂き、地域の歴史についても学んだところで



今年、春の蔵開きの様子。
イベントの益金一部を社会福祉協議会へ寄付。



●復旧・復興を後押し

地域交流を行っている最中、平成28年熊本地震、そして昨年は九州北部豪雨災害が発生しました。微力でも、日田市の復旧、復興のため、また、社会福祉事業展開のためと思い、募金と寄付を続けています。

◆取材を通して:

今後も地元地域の皆様との交流を大切にし、より地域に根差した企業でありたいと思います。

社内で毎日唱和する言葉があります。「品質第一」「安全運転」「おかげさまで」謙虚な気持ち、感謝の気持ちを自分自身に言いにかけているそうです。

日田市内で行われる様々なイベントやお祭りには、三和酒類(株)いいちこ日田蒸留所より、多くのご協力を頂いております。

そこには、①企業 ②地域 ③人がつながる三「和」の心が感じられます。思いやりから「協同」が生まれていることを感じました。

●企業データ

◆いいちこ日田蒸留所

- ◆大分県日田市西有田810-1
- ◆TEL 0973-25-5600 FAX 0973-25-6215
- ◆営業時間：10:00～16:00
- ◆入園料：無料
- ◆定休日：毎週火曜日(祝日の場合は営業) 盆・年末年始
- ◆駐車場：約42台

ドライバーの方の試飲はご遠慮ください。
喫煙コーナー以外での喫煙、ペットを連れての入場はご遠慮ください。

災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました

災害ボランティアセンターの設置目的は、災害ボランティア活動を通じて、被災者の日常生活への復旧を支援することです。そのためには、普段からスムーズに災害ボランティアセンターを機能させることができるように訓練しておくことが必要です。また、関係団体・行政機関と連携を深めることが、いざというときに混乱せず、効率的な運営につながります。

こうしたことから、今回、災害ボランティアネットワーク連絡協議会のメンバーが集まり、6月9日に大鶴公民館で災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。



ニーズとのマッチング(需給調整)

今回の訓練には、行政や福祉団体などで構成されている、災害ボランティアネットワーク連絡協議会会員約60名が参加しました。

訓練は運営側とボランティア側に分かれて、被災者のニーズ調査やボランティアの受付、資機材の貸出しなどを模擬体験する形式で行われました。



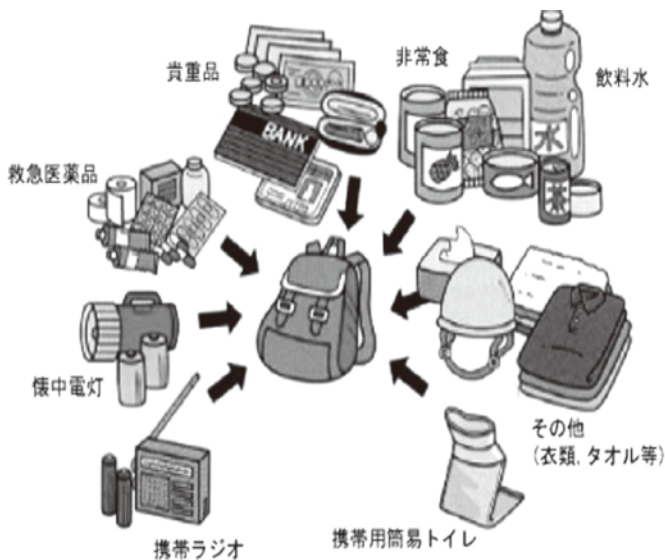
たようです。

参加者からは、「ニーズとボランティアの調整の難しさを感じ、勉強になった」と災害ボランティアに対する意識が高まりました。

同協議会会長梅野義雄氏は、「災害時に速やかにボランティア活動ができるように、普段から関係団体と密な連携体制をはかっていきたい」と決意を語ってくださいました。

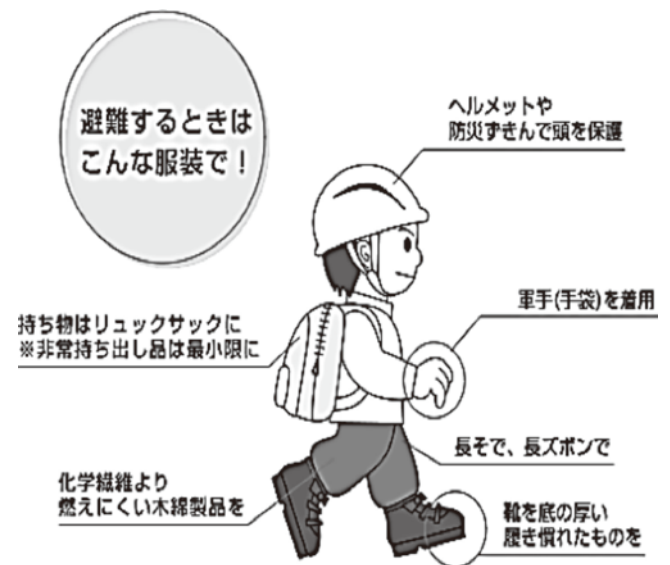
家族でチェック

各家庭で家族3日分の非常食を用意しておきましょう。非常食には、レトルトや缶詰等の調理の手間がかからず、水もあまり使用しないものを選びます。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。



毎日の備えが、明日へつながる

あらゆる災害は突然やってきます。私たちにできることは、災害が起きたときのために準備をしておくこと。避難経路を確認し、水や食料のほか、生活用品を常備しておきましょう。日ごろの備えが、非常時に私たちを助けてくれます。



2018年 福祉のしごと 就職フェア開催!

- 日 時：平成30年8月25日(土)
10時30分～12時(受付：10時～)
- 場 所：日田市総合体育館 剣道場
- 対 象 者：福祉職場に就労を希望する方や福祉の仕事に関心のある方
来春卒業予定の学生、学校等の進路指導担当者

今すぐスケジュールを
チェック!



❖ 参加方法 ❖

事前の参加申し込みをお願いします。
来所、電話、FAXなどで連絡ください。
当日受付も行います。

- ◆履歴書不要
- ◆入退場自由
- ◆参加無料



- 福祉施設、事業所との面談が
出来ます
- 福祉関係資格の相談コーナ
ーを設置
- 求職相談、求職登録を受付



お問合せ 日田市福祉人材バンク(社会福祉協議会内) 担当：山田 ☎24-7026 FAX 24-3452

「ひまわり倶楽部」見守りボランティア募集!!

夏休みの期間中、障がいのある児童・生徒を対象に、見守りや遊び相手、話し相手をしていただけるボランティアを募集しています。半日～1日の参加でも大歓迎です。空き時間や夏休みを利用して、ボランティアへ参加してみませんか?

- 場 所 大分県立日田支援学校プレイルーム(日田市西有田石松町)
- 期 間 7月23日(月)～8月17日(金) ※お盆、土日を除く16日間
- 時 間 午前9:00～午後3:00
- 募集対象 中学生以上(学生、一般は問いません)
- 持参物 お茶、タオル、シューズ、着替え ※昼食はお弁当を用意します。



※障がい児長期休暇生活サポート事業(愛称：ひまわり倶楽部)とは、夏休み期間中にボランティアの皆さんの協力を得て、障がいのある子どもたちに活動の場を提供する事業です。

お問合せ 日田市社会福祉協議会 担当：山田 ☎24-7026

「市民後見人養成講座」 受講生募集

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者の権利を擁護する成年後見人等の活動に必要な知識を習得し、権利擁護、地域福祉の担い手となる市民後見人として活動できる人材を養成することを目的に講座を行います。

- 期 日 平成30年8月4日～10月20日のうち6日間
平成31年1月19日～3月2日のうち4日間
- 内 容 ・認知症や知的障がい、精神障がいの理解
・成年後見制度や社会福祉に関する制度について
・成年後見人の業務内容について など
- 受付期間 平成30年7月31日まで
- 募集人員 20名（受講条件があります）
※詳しくは社協ホームページをご覧ください。
下記までお問い合わせください。
- 申し込み 電話、FAX



ホームページ：<http://www.hitashakyo.jp/>

※左側QRコードからもアクセス可能です。

日田市社会福祉協議会 TEL：24-7026 FAX：24-3452



福祉について学ぼう！

民生委員の歴史をご存知ですか？

福祉に関する理解を深めるため、福祉用語や福祉に大きく貢献した人物、できごとなど幅広く紹介していきたいと思っております。私たちの生活を取り巻く「福祉」について学んでいきましょう。

第一次世界大戦時日本は好景気となり、物価が高騰。出征した兵士たちの食糧にと国が大量の米を買い上げたため、米価が高騰するなど、社会が混乱し民衆の生活不安が高まりました。これらの社会変動によって急増した貧困世帯を救済するため、林市蔵大阪府知事が、海外の社会情勢に詳しい小河滋次郎に調査を依頼し、その後「方面委員制度」が考案・創設されました。方面委員は、岡山県の「救世顧問制度」や、ドイツの民間有志委員による組織的救済活動を参考にしたと言われています。その後、活動は全国各地に広まり、1946年に「民生委員」と名称を改めました。

1914 (大正 3)年:「第一次世界大戦」
1917 (大正 6)年:「済世顧問制度」創設 (岡山県)
1918 (大正 7)年:「方面委員制度」発足 (大阪府)
1936 (昭和11)年:「方面委員令」公布 (全国)
1946 (昭和21)年:「民生委員令」公布、方面委員制度廃止
1948 (昭和23)年:「民生委員法」公布

生活困窮者の保護・救済・指導などを行う名誉職として始まり、現在は地域福祉の推進者として、今日まで活動が続いています。また、民生委員は児童福祉法に規定されている児童委員も兼ねていて、民生児童委員と呼ばれることもあります。1994 (平成6年)に児童分野を専門に担当する主任児童委員が創設されました。



寄付のお礼

敬称略

日田市社会福祉協議会に次の方々からご寄付をいただきました。ご芳情に対し、厚くお礼申し上げます。

この浄財は、社会福祉事業を推進するために、有意義に活用させていただきます。なお、市社会福祉協議会へのご寄付は、所得税の控除対象となります。

*ご本人の承諾を得て、金額、氏名等を掲載いたしております。

▼香典返し（5月1日～6月30日）

日田本所受付分

- 3万円 藤原 亮 亡母 ハルエ (田島一)
- 3万円 松尾 文利 亡母 美佐枝 (刃連)
- 5万円 矢幡晋一郎 亡父 敏也 (大山町西大山)
- 2万円 谷口 啓子 亡夫 宏行 (豆田)
- 2万円 宮崎 勝利 亡弟 幸太郎 (天瀬町塚田)
- ー 諫山 留美 亡夫 浩 (田島一)
- 5万円 坂本 美恵 亡夫 弥生 (下井手)
- 10万円 南 徳明 亡父 爲三郎 (亀山)
- 2万円 井上 義文 亡父 惇 (南友田)
- 5万円 伊藤 修二 亡父 彥忠 (神来)
- 3万円 伊藤 英司 亡父 和敏 (玉川三)
- 2万円 大蔵 浩之 亡父 猛・亡母 尚子 (神奈川県大和市)
- 5万円 立花 春子 亡夫 重利 (清水)
- 10万円 日隈八重子 亡夫 良夫 (刃連)
- 10万円 竹中美根子 亡母 廣瀬富子 (奈良県生駒市)
- 杉森 哲 (大鶴)
- ー 佐藤貴美代 亡夫 薫 (三本松新)

上津江支所受付分

- 3万円 前 元成 亡母 キヌエ (川原)

大山支所受付分

- ー 黒川 清人 亡母 恭子 (東大山)

▼一般寄付等（5月1日～6月30日）

日田本所受付分

- 35,548円 日田高校JRC部 社会福祉事業へ (田島二)



● 榎原吉光(市ノ瀬)
花てぼ 50個
市内の福祉施設へ



掲 示 板

弁護士による無料相談事業

日 程	時 間	場 所
8 / 2(木) (受付7/23(月) 8:30~)	13:00~17:00 定員8名(先着順)	日田市総合保健福祉センター
9 / 6(木) (受付8/27(月) 8:30~)	13:00~17:00 定員8名(先着順)	日田市総合保健福祉センター

※事前に予約が必要です。

心配ごと一般相談

日 程	時 間	場 所
毎週木曜日	9:30~11:30	日田市総合保健福祉センター
毎月第3水曜日	10:00~12:00	天瀬総合福祉センター
毎月第3木曜日	14:00~16:00	大山総合福祉センター

夏のボランティア 体験日間のお知らせ

- **内容**
日田市内の福祉施設（高齢者施設・障害者施設・児童施設他）でボランティアを体験することで、福祉に対する理解を深め、ボランティア活動を推進します。
- **場所**
日田市内の各福祉施設（高齢者施設・障害者施設・児童施設他）
- **期間**
7月21日(土)～8月31日(金)
(一人3日間以内)
- **募集対象**
小学生・中学生・高校生・大学生・社会人（施設毎に募集基準があります）
- **お問い合わせ**
日田市社会福祉協議会
地域福祉係 担当：川野
☎ 24-7026
- **※ボランティア活動保険代200円をご負担ください。**

社協だよりひたは資源循環のため印刷再生紙を使用しています。
また、環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。

